

創立記念日（５月１３日）に当たって

西会津高等学校長

本校は昭和２３年５月１３日、山都高等学校定時制野沢分校として創立されたことから、以後この日をもって、本校の創立記念日と制定しました。小学校の教室を間借りしての出発でした。

昭和２６年、野沢分校を閉鎖して山都本校に集結する案が出ました。その危機を脱したのは、当時の渡部晴松町長の情熱でありました。町長の回顧に次のようなことばがあります。

「どんなに反対があろうが、高等学校は建てたいと思っている。高等学校もたない野沢町の将来は、どうなるであろう。…頼みますよ。」

校舎建築も苦難の連続でありましたが、昭和２８年に木造校舎が完成しました。

本校の次なる目標は、山都高校からの独立でありました。分校に過ぎなかった野沢校舎が、生徒数の増加や体育館等の施設設備が充実していく中で独立の気運が高まり、町議会によって県に独立の陳情がなされ、昭和３８年２月の県議会で、独立高校とする旨の議決が採択されました。ここに長年にわたる「西会津町に独立校を」の夢は、達せられたのです。野沢分校として産声をあげてから１６年の歳月が流れていました。

昭和３９年４月には独立記念式典が挙行され、新しい校章を持ち得たときの喜びは、ひとしおでありました。（校歌は昭和３０年に制定）このようにして創立されて以来、幾多の苦難を乗り越えてきた先人達の思いと、地元の熱い期待と熱意、当時の向学心あふれる生徒諸君を忘れてはならないと思います。

校訓の「不撓不屈」「質実剛健」のもと、７６周年の創立記念日に当たって、当時を振り返り思いを改めて感じることは、今日そして明日を生きようとする生徒諸君にとって意義あることと思います。